

主伐による森林循環の加速化と 持続可能な森づくりを目指して

令和7年度版 「富山県森林・林業白書」



主伐再造林地



大径木の伐採



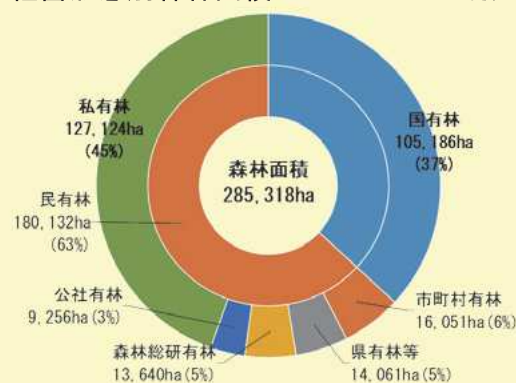
ボランティアによる植樹活動

目次

- ◆ 富山県の森林・林業の姿・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ◆ 富山県森林・林業振興計画の概要・・・・・・・・・・・・3
- ◆ 令和6年度 森林及び林業の施策・・・・・・・・・・・・5
 - ・ 基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化・・・・・・・・5
 - ・ 基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成・・・・12
 - ・ 基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり・・・・15
- ◆ 振興計画の目標指標と令和6年度実績・・・・・・・・・・19
- ◆ 令和6年度の主な出来事・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

富山県の森林・林業の姿

経営形態別森林面積 R6. 3. 31現在



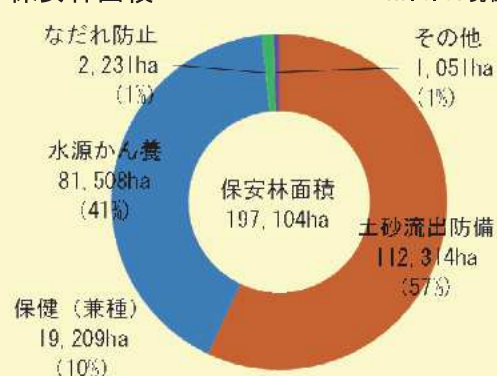
本県の森林面積は約285千haで、総土地面積425千haの67%を占めています。森林率は全国とほぼ同じ水準です。

民有林人工林の齢級別面積・蓄積

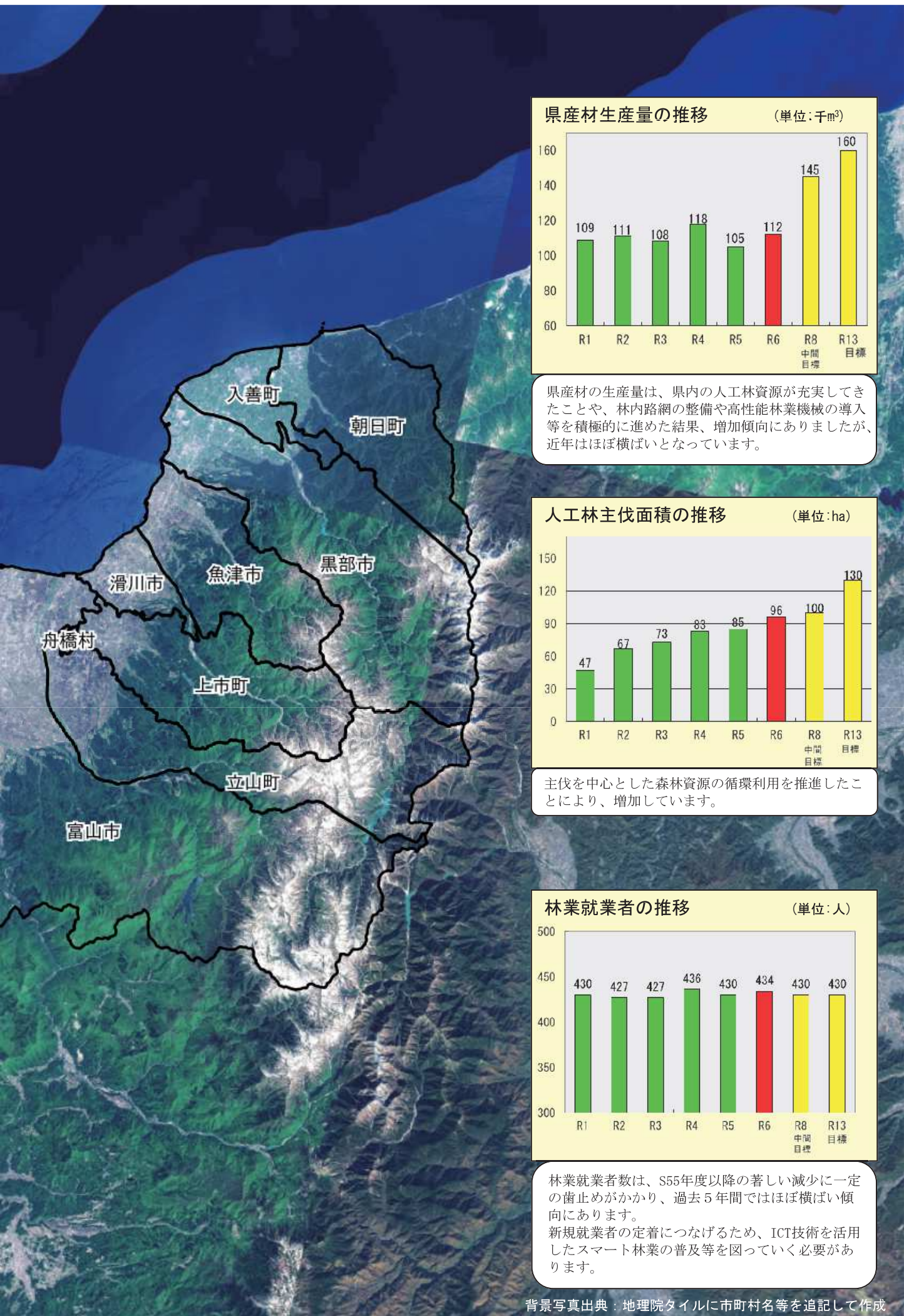


県内の人工林は、木材として利用可能な9齢級以上の森林が、面積全体の約8割、蓄積全体の約9割を占めています。

保安林面積 R7. 3. 31現在



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林を、その目的に応じ保安林に指定しています。保安林率は69%で、全国の都道府県で最も高くなっています。



富山県森林・林業振興計画の概要 ～主伐による森林循環の

1 森林・林業・木材産業の目指す姿



『主伐による森林循環の加速化と持続可能な森づ』

富山の豊かな森を守り育て、林業・木材産業の成長産業化を一層推進
花粉症対策への貢献と県民のウェルビーイング向上を目指す

2 目標の実現に向けた推進施策

基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化

1 素材生産力の強化

- 地上レーザやドローンによる効率的な立木調査★1
- スギ人工林の伐採と無花粉スギや広葉樹の植栽による花粉発生源対策
- 線形や土場の設置など木材の大量輸送に対応した林道の開設★1
- 生育期間が短く大量生産が可能な挿し木による無花粉スギの増産体制の確立
- 地震で被災した林道等の復旧と大規模災害を見据えた維持管理体制の構築★4
- ドローンによる運搬や通信環境の整備など先端技術を活用した作業省力化★1
- 路網開設が困難な急傾斜地での架線集材など新たな作業システムの推進★1
- 丸太の自動計測や配車システムの導入などによる木材流通の見える化★1
- 広葉樹の有効活用に向けた分布域や樹種などの詳細な資源情報の把握



地上レーザ計測



タワーヤーダ
(架線集材)

2 林業経営基盤の強化

- 伐採から造林までを連続して行う「一貫作業システム」の推進★1
- 携帯電話圏外での林内通信環境の整備による生産性・安全性の向上★1
- 森林Jークレジットを通じた森林整備と企業等の脱炭素の好循環創出
- 県営林の計画的な主伐による県産材の安定供給
- きのことや山菜など特産林産物の栽培技術の開発やPRによる消費拡大



林内通信環境の整備

3 安定供給体制の整備と需要の拡大

- 富山県ウッド・チェンジ協議会による木材利用のプラットフォームの構築★2
- JAS製材品など品質・性能の確かな県産材製品の供給促進
- 民間事業者との建築物木材利用促進協定による県産材利用の推進★2
- 木材産業の復興と大規模災害に強い県産材サプライチェーンの構築★4
- 中山間地域の活性化につながる早期の収穫が可能な早生樹の栽培実証



民間企業との木材利用促進協定

4 新たな技術開発と普及指導の推進

- 「立山 森の輝き」を上回る成長や材質等に優れた無花粉スギの開発
- 里山広葉樹林において付加価値の高いホオノキの更新技術の開発
- 地震に強い木質架構技術やリフォーム工法、耐震シェルターの開発★4
- 低コスト作業システムなど効率的な主伐のための知識・技術の普及



新たな無花粉スギの開発

3 プロジェクト重点

重点1 生産性向上PJ★1

- ◆ 地上レーザやドローンによる立木調査
- ◆ 主伐に対応した林道開設
- ◆ 架線系作業システムの検証
- ◆ 木材流通の見える化
- ◆ 一貫作業システムの検証



重点2 ウッド・チェンジPJ★2

- ◆ ウッド・チェンジ協議会での木材利用推進
- ◆ 民間建築主との木材利用協定
- ◆ 大径材用の製材ライン導入
- ◆ 木製遊具導入や木育イベント
- ◆ 木育と自然保育の森林教育



『くり』

し、カーボンニュートラルや

R13 目標 指標	県産材の 生産量	160千m ³
	林業の 担い手数	430人



基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成

1 林業の担い手等の確保・育成

- インターンシップや外国人材の受入れなど林業担い手センターによる新規就業者の確保★3
- 学生対象の林業体験やSNS・動画配信による若者への就業PR★3
- 苗木生産等での福祉事業者との林福連携による新たな働き手の確保★3
- 林業カレッジによるICTや架線集材など新しい技術の習得★3
- 快適トイレなど作業環境の改善による女性も働きやすい環境づくり★3
- 液状化対策や耐震、中大規模の木造建築物を設計できる人材の育成★4



高性能林業機械シミュレータ

2 森と木の関係人口拡大



- 児童生徒をはじめ広く県民への環境教育を提供する森の寺子屋の開催
- SNSを活用した森林ボランティアのPRと若者の新規参入促進★3
- 県産材遊具の導入やイベント開催等による県産材利用の普及啓発★2
- 木に触れ森を学ぶ木育と自然保育によるこどもまんなか森林教育★2



森と木を知る自然保育

基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり

1 災害に強い森づくりの推進

- 公益的機能の発揮が求められる森林の計画的な保安林指定と適切な管理
- 流域を一体とした荒廃地の復旧、災害の予防、流木対策の重点的な実施
- 地震で発生した山地災害等の復旧と災害に強く持続可能な森づくり★4
- 治山施設が将来にわたって機能を発揮し続けるための長寿命化対策
- 松くい虫やカシノナガキクイムシなどの森林病虫獣害の予防と拡大防止



流木捕捉機能ダム

2 県民参加による多様な森づくりの推進

- クマなどの野生動物の移動経路となっている河岸段丘等での里山林整備
- 里山応援隊活動など地域ニーズに応じたきめ細かな里山管理への支援
- 侵入竹林等の整備による針葉樹と広葉樹が混在する混交林化
- 企業と里山地域による協働での森づくり活動の推進★3
- 森づくり活動のCO₂の吸収量認証による活動への参加促進★3



県民参加による里山整備

重点3 次代を担う人づくりPJ★3

- ◆ インターンシップや外国人材等の新規就業者確保
- ◆ 林福連携や女性就業促進
- ◆ 架線集材の技術者育成
- ◆ 家庭へ苗木育成キット配布
- ◆ CO₂吸収量認証制度創設



重点4 能登半島地震復旧PJ★4

- ◆ 山地災害の早期復旧と予防対策
- ◆ 林道施設点検と対策工事
- ◆ 大規模災害に強い木材のサプライチェーン構築
- ◆ 地震に強い木造建築物普及



令和6年度 森林及び林業の施策

基本施策Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化

充実した森林資源を背景に、間伐から主伐へ森林施業をシフトするとともに、その基盤となる林業の経営力を強化するため、林業生産性の向上や林業事業体の育成、県産材の安定供給体制の整備、新たな技術開発などに取り組み、持続可能な森づくりを一層加速化します。



1 素材生産力の強化

(1) 森林施業の集約化の推進

(施業の集約化の促進)

林業事業体等の持続的・効率的な経営を促進するため、整備計画区域を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進しました。

実績	人工林における集積・集約化の目標面積※に対する割合（年間）※人工林の半数	75%
----	--------------------------------------	-----

富山県森林経営管理総合支援センターにより、市町村が森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度などに基づき行う、所有者の確認や協定の締結などの集約化施業を支援しました。

実績	・市町村職員対象研修会 2回、47人参加 ・意向調査等の実施（準備含む） 14市町
----	--

(森林情報の活用の推進とオープン化)

国のG空間情報センターなどで森林資源情報のオープンデータ化を進め、企業や研究機関、個人の森林への関心を高めるとともに、データを活用した研究やサービスの発展を促進しました。

G空間情報センターで公開している森林資源情報



(2) 人工林の主伐加速化と森林整備の推進

(間伐等森林整備の継続)

間伐など保育が必要な森林については、造林事業補助金などにより森林整備を支援しました。

実績	間伐（造林事業関係） ・造林事業 335ha、間伐材生産推進事業 25ha、 県単独森林整備事業等 17ha
----	--

(計画的な主伐の加速化と適切な再造林)

スギ人工林伐採重点区域において花粉発生源となるスギ人工林を伐採し、一貫作業により伐採跡地に優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽する取組みなどを支援しました。

実績	・伐採重点区域での主伐 67ha ・「立山 森の輝き」の植栽 31ha
----	--

(3) 無花粉スギの苗木生産体制の整備

(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」採穂林の適正な管理)

挿し木による苗木生産を進めるため、採穂林（魚津採種園、砺波採種園および森林研究所の3箇所）で約1万5千本を適正に管理するとともに散水施設を備えた育苗施設を整備しました。

実績	・採穂林管理 5.8ha ・農業用ハウス 2棟 ・コンテナ苗散水施設（魚津採種園）
----	---

一貫作業による主伐再造林



優良無花粉スギ「立山 森の輝き」採穂林



(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の民間生産者（技術者）の確保・育成)

コンテナ苗生産に取り組んでいる民間生産者に対して、巡回指導による生産現場に応じた技術支援や栽培指導を行うことで、生産技術の向上を図りました。

実績	・新規生産者	4 者
	・種苗生産事業者への巡回指導	11 者

(4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備

(森林の適切な管理と林業生産性の向上を可能とする路網整備の推進)

地形・地質、森林資源の状況等を踏まえた作業システムの導入のため、幹線となる林道、林道を補完する林業専用道、林業機械が走行する森林作業道を適切に組み合わせて整備しました。

実績	・林道	() 内は未完成延長
	山のみち	0.2 (0.4) km
	森林基幹道	0.7 (1.1) km
	森林管理道	0.2 (0.2) km
	・林業専用道（規格相当）	0.3 km
	・森林作業道	110.9 km

(5) スマート林業による生産性の向上

(ICT等を活用したスマート林業の推進)

「富山県林業イノベーション推進協議会」において、ドローンによる森林資源調査などのスマート林業機器等の実証事業に取り組みました。

実績	・実証機器：タワーヤード、林内通信網整備、動画等による生産管理など
	・林業事業者向け研修 3 回、104 人参加

(先端技術等を活用した新たな作業システムの推進)

伐採、集材、植栽、育林などの各段階において効率化を図るため、先端技術を活用した作業の自動化、遠隔化などの取り組みを推進しました。

実績	・タワーヤードによる架線系集材	0.54 ha
----	-----------------	---------

トピックス タワーヤードによる架線系集材の実証

県内の森林は急傾斜が多いことから、林内路網整備が困難な場所での木材生産や林地残材を効率的に集材できる架線系システムが必要です。一方で、近年、県内では架線による木材生産が行われていないことから、富山県林業イノベーション推進協議会の実証事業により、生産性について検証しました。

黒部市福平地内のスギ人工林において、タワーヤードによる架線集材を実施した結果、



タワーヤード(オーストリア製)



架線での全幹集材の状況

一連の作業（タワーヤード設置、伐採、集材・造材、林内運搬、撤収）の生産性は、 $8.0 \text{ m}^3/\text{人日}$ で、県内の主伐の生産性 $6.3 \text{ m}^3/\text{人日}$ (R4) を上回る高い値となりました。

(6) 広葉樹資源の有効活用

森林クラウドやドローンを活用し、広葉樹資源情報を把握するとともに、施業の集約化を図り、効率的な路網配置と高性能林業機械の活用による伐採費用の低減を図りました。

県森林研究所と協力し、広葉樹伐採後の更新について、コストを低く抑えることができる管理・利用手法の確立に向けて調査データの蓄積を行いました。



2 林業経営基盤の強化

(1) 林業事業体の育成と経営基盤の強化

(森林組合の経営基盤強化)

事業執行体制の強化を図るための指導、検査及び研修を実施しました。

実績	常例検査	2 組合
----	------	------

(高性能林業機械の導入)

生産性・安全性向上の基礎となる高性能林業機械の導入を支援しました。

実績	フェラーバンチャ 1 台、プロセッサ 1 台、林業用トラック 1 台、ウィンチ付グラブプル 1 台
----	---

(2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理

(非皆伐長伐期施業による森林の適正な管理)

混交林化を促進する更新伐(面的複層林施業)を活用し、「非皆伐長伐期施業」に努めるとともに、路網整備が困難な林分を想定した架線集材の実証に協力するなど、適正な管理による森林の有する公益的機能の維持・向上を図りました。

実績	非皆伐長伐期施業	24.5ha
----	----------	--------

(木材販売収入以外の新たな収益の確保)

公社営林において、新たな収益として森林 J-ークレジット制度の導入に取り組み、適正な管理に必要な財源を確保するなど、経営改善に取り組みました。

(分収比率変更による将来収支の改善)

土地所有者の理解のもと、「公社 6 : 土地所有者 4」となっている分収比率を、「8 : 2」とする契約変更に、引き続き粘り強く取り組みました。

実績	契約変更	1 件 (延べ 945 件 進捗率 95.6%)
----	------	--------------------------

(3) 県営林の適正な管理

(適正な県営林の管理)

公益的機能を十分発揮できる森林を造成するため、間伐等の施業を計画的に実施しました。

実績	・間伐	1.0ha
----	-----	-------

(計画的な県産材の供給)

地域の素材生産量などのバランスに考慮した売払いを実施するなど、継続的な県産材の供給に努めました。

実績	・主伐売払 3 件 (10.3ha 6,206m ³ (立木材積))
----	---

(4) 特用林産物の振興

(生産施設の整備や生産基材の供給への支援と技術指導)

オガ粉等の生産資材や電気料金の高騰により、厳しい経営状況となっている菌床シイタケ等の生産事業者に対して、生産資材の購入や電気料金の支援に取り組みました。

実績	・生シイタケ生産量	1,440 t (R6 年次)
----	-----------	-----------------

高性能林業機械による造材
(魚津市長引野)



公社での非皆伐長伐期施業
[架線集材] (黒部市福平)



県営林の主伐(氷見市小滝)



菌床シイタケの栽培





3 安定供給体制の整備と需要の確定

(1) 品質・性能の確保と流通の円滑化

(需要に応じた供給体制の整備)

木材加工施設への製材設備等の導入を支援しました。

実績	木材加工流通施設整備	1 箇所
----	------------	------

燃料等の高騰により、厳しい経営状況となっている事業者に対して、電気料金等の支援に取り組みました。

実績	木材加工流通事業者	5 件
----	-----------	-----

(川上から川下までの関係者の連携強化)

「とやま県産材需給情報センター」により、県産材の供給情報と建設予定物件の県産材使用量などの需要情報の調整や共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を推進しました。

木材加工施設に導入した製材機
(射水市)



トピックス パッシブタウン第5街区竣工

「県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定」を県と締結し、構造材や内外装材に県産材を積極的に使用した北陸初の木造中高層建築物が令和7年3月に竣工しました。

建設にあたっては、とやま需給情報センターが中心となり供給及び製材を調整し、県内25ヶ所から原木供給、県内製材会社19社によって製材、乾燥、防腐処理等が行われ、1,450 m³の製材品が使用されました。

施設概要 所在地：黒部市三日市 施主：YKK不動産(株) 総事業費：86億円

建築概要：地上6階建 2棟、地上7階建 1棟 木材使用量：1,670 m³ (県産材率87%)

パッシブタウン第5街区 外観



(2) 建築分野における木材利用の促進

(住宅分野における利用促進)

県産材を使った住宅建設に対する支援等を実施しました。

実績	とやまの木で家づくり支援事業	26 棟
----	----------------	------

住宅分野での県産材の利用促進を図るため、県産材アドバイザーなどを通じ、利用方法や調達方法を工務店等へ広く紹介するとともに、県産材を使用しているとやまの木で家づくり応援工務店等に対しHPでのPRなどの支援にも取り組みました。

実績	・とやまの木で家づくり応援工務店等 21 社 ・県産材アドバイザー 43 名 (R7.3末現在)
----	--

支援事業を活用した県産材住宅



《令和7度新たにに取り組む施策》

富山県ウッド・チェンジ協議会による木材利用に関する課題の検討や取りまとめるとともに、県内の民間木造建築物の優良事例を紹介するなど、民間建築物での木材利用の促進を図ります。

(非住宅分野における利用促進)

県民が広く利用する施設への県産材を活用した木造化や内外装木質化、遊具や備品導入に対する支援等を実施しました。

実績	・内装の木質化	2 施設
	・外装の木質化	2 施設
	・県産材備品導入	5 施設
	(施設数は重複あり)	

民間建築物における木材利用を促進するため、県と建築主等において「建築物木材利用促進協定」を締結するなど、協働・連携して木材の利用に取り組みました。

実績	木材利用促進協定の締結	1 件
----	-------------	-----

非住宅分野における外装の木質化



トピックス「県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定」の締結

(株)ゴールドウィン、砺波地区木材組合及び南砺市と県は、令和9年に南砺市桜ヶ池周辺エリアで開園を予定している「PLAY EARTH PARK NATURING FOREST」(プレイヤーパークネイチャリングフォレスト)の建築物に県産材を使用する協定を令和6年12月26日に締結しました。建築物の構造材や内装、什器等の備品類に県産材が使用される予定です。

県と南砺市は、技術的助言や木材調達等の情報支援し、協定にもとづく取組みを優良事例として積極的に広報することにより、民間建築物への木材利用の促進を図ります。



田中市長、渡辺社長、新田知事、澤田組合長

富山県ウッド・チェンジ協議会においては、民間事業者が抱えている木材の防・耐火性が低いといった不安材料やネガティブなイメージを和らげるための資料の内容と普及方法について協議しました。

実績	・富山県ウッド・チェンジ協議会会員数	26 社
	・富山県ウッド・チェンジ協議会	1 回
	・とやまウッド・チェンジセミナー	1 回

とやまウッド・チェンジセミナー



(3) 木質バイオマス等の利用促進

(木質バイオマスの利用促進)

未利用間伐材など低質材の搬出について支援しました。

(早生樹をバイオマス燃料として活用するモデル事業の実施)

荒廃した里山地域や耕作放棄地において、成長に優れ2～3年で収穫できるヤナギ類等の早生樹の栽培実証を行いました。

実績	・早生樹(ヤナギ)収穫・実演研修会	1 回
----	-------------------	-----

コウヨウザンやユリノキなどの早生樹についても、県内への導入に向け栽培実証を行いました。

サトウキビ用ハーベスタを用いたヤナギの収穫





4 新たな技術開発と普及指導の推進

(1) 森林資源の循環利用と林業の成長産業化を実現するための技術開発

(森林資源の循環利用と林業の成長産業化を実現するための技術開発)

- ・早生樹であるコウヨウザンやユリノキの本県における生育適性を評価するとともに造林適地の明確化に取り組みました。
- ・地上型レーザスキャナーによる効率的な森林資源量把握及び形質評価技術を開発しました。
- ・無花粉スギの品種改良を進め、「立山 森の輝き」を上回るエリート無花粉スギ候補木を作出しました。
- ・里山広葉樹林において付加価値の高いホオノキの更新技術の開発に取り組みました。

実績	・日本森林学会大会 発表・報告 3件
----	--------------------

(水とみどりを育み県民生活の安全・安心に貢献する森づくりを推進するための技術開発)

- ・病虫害等から森林を守るための防除技術に取り組みました。
- ・AI を活用したクロマツ海岸林の衰退樹冠の自動検出システムを開発しました。
- ・ツキノワグマ出没予測のためのブナ科(ブナ・ミズナラ・コナラ)堅果の豊凶モニタリング調査を行いました。
- ・スギ花粉症対策の一環としてスギ花粉の飛散予測を行い、広く県民に情報提供を行いました。

実績	・日本森林学会大会 発表・報告 1件
----	--------------------

(林産物等の活用による中山間地域振興に資する技術開発)

- ・舌下免疫療法用のスギ花粉の効率的な採取技術の開発に取り組みました。
- ・高機能性きのこの探索とその栽培技術の開発に取り組みました。
- ・ヤナギ類を活用したバイオマス発電所向け、燃料の生産技術の開発に取り組みました。

実績	・日本森林学会大会 発表・報告 1件
	・日本花粉学会大会 発表・報告 1件

(森林・林業に関する研究成果等の情報提供)

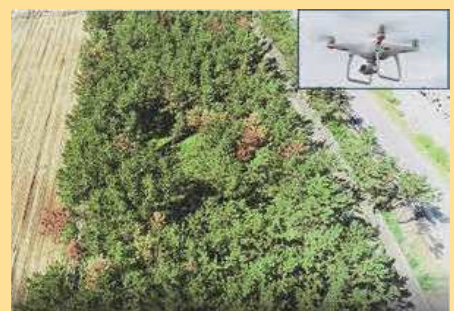
- ・林業関係者や一般県民に対して、わかりやすい研究情報を発信しました。
- ・林業技術講習会や研究成果発表会を行うとともに、パンフレットや成果集を発刊/公開して広く技術の普及を図りました。

実績	・森林研究所研究成果発表会	80人参加
	・とやま森林研究所だより	発行・Webサイト公開
	・研究レポート No. 25	発行・Webサイト公開
	・研究報告 No. 16	発行・Webサイト公開
	・業務報告	発行・Webサイト公開

エリート無花粉スギの開発に向けた試験林



ドローン空撮画像を用いた枯死木の自動検出



ビニールハウスを活用したスギ花粉の効率的な採取



試験研究成果発表会



（２）県産材等の需要拡大を図る技術開発

（県産スギ大径無垢材の高品質化及び架構技術の開発）

- ・非住宅分野の木造建築（特に中大規模・中高層）へ利用可能とする高品質な仕上りの乾燥技術の開発に取り組みました。
- ・地震と積雪荷重に耐える安全安心な木質架構技術の開発に取り組み、中大規模・中高層木造建築への利用拡大につながるよう取り組みました。
- ・県産材を用いた耐震構造へのリフォーム工法や耐震シェルターの開発等に取り組みました。

実績	・研究課題	6 課題
----	-------	------

（県産材を用いた新たな木製品の開発）

- ・土木分野での県産材の需要拡大に資する新たな木製品の開発に取り組みました。
- ・ウッド・チェンジを推進する技術や製品開発に取り組みました。

実績	・研究課題	8 課題
----	-------	------

（県産材の利用技術の実務者への普及）

- ・実務者向け木材利用講習会等において、技術情報を提供するとともに意見交換を行いました。
- ・強度試験の公開実験を実務者向けに行い、技術展開を進めました。

実績	・林産技術講習 R6. 10. 22 開催	25 人参加
	・木材研究所研究成果発表会	R7. 2. 7 開催
	・依頼試験	19 社 (69 件)

（３）持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進 （面的なまとまりのある持続可能な森林経営の推進）

森林組合等の林業事業体に対し、面的なまとまりのある森林経営計画作成や路網整備等による集約化施策を指導しました。

（森林・林業に関する技術・知識の普及・指導）

主伐の拡大に伴い、人工林の更新や針広混交林化などの森林の管理技術や効率的な主伐を実施するための知識・技術を普及しました。

（低コストで安定的な県産材の供給体制づくりの推進）

I C Tを活用した森林資源管理によるスマート林業の推進を図るとともに、川上から川下までの林業・木材産業等の関係者間の連携や情報共有に向けた取組を行いました。

実績	・フォレスター登録（累計）	32 名
	・林業普及指導職員活動成果発表会	
	R7. 2. 21 開催	84 人参加
	・地区座談会	24 回開催

木質耐震シェルター



木製ダム



林産技術講習会



集約化に向けた現地説明・指導
（富山市）



林業普及指導地区座談会
（朝日町）



基本施策Ⅱ 豊かな森林を未来につなぐ人材の育成

とやまの豊かな森を守り育て次世代に引き継ぐため、来る主伐時代にも対応した林業の担い手を確保・育成するとともに、森林ボランティア活動や木育など森林や木材に関わる関係人口の拡大に取り組めます。



1 林業の担い手等の確保・育成

(1) 林業担い手センター等による担い手の確保・定着 (インターネットを活用した相談体制の整備や、福祉連携等により労働力を確保)

林業就業に関する一元的な情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」の運営、ハローワークと共同で就業相談会の開催や、首都圏等大都市で開催される林業就業者相談会に参加するなど、新たな担い手の確保に取り組みました。

実績	・アクセスユーザー数 6,948 ユーザー ・就業相談会（県内） 11 回 23 人参加 ・就業相談会（県外） 1 回 9 人参加 ・その他就業相談者（就業ナビ等） 15 人 ・新規就業者 34 名
----	---

高校生や大学生、就業希望者を対象に、林業体験を実施しました。

実績	・林業体験 6 回（高等学校 4 回、大学 2 回）、延べ 93 人参加 ・林業就業支援講習 1 回 9 人参加
----	---

就業相談会



高校生等の林業体験



トピックス 苗木生産における初の福祉事業者との連携



「林福連携」とは、障害を持つ方が林産物の生産に携わっていることを指します。具体的には、人手を求める生産者が就業機会を求める福祉事業者の方と連携して林産物を生産することで、県内では、きのこ生産分野で数例、取り組まれています。

今回、令和 6 年 6 月に苗木生産分野で初めて、林福連携により、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の苗木をコンテナに移植する作業を行いました。

人口減少社会のなか、林福連携の取組を林業関係者と福祉事業者の要望をききながら、PRを行うとともに実現可能な分野から進めていきます。

(担い手の就労環境の改善と定着率を向上)

林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、林業現場での安全巡回指導の実施や個人事業主への労働安全衛生改善セミナーを実施しました。

実績	・安全巡回指導 10 回 ・労働災害救助訓練 1 回 43 人参加
----	--

安全巡回指導



《令和7年度に新たに取り組む施策》

新規就業者の確保・定着を促進するため、女性や若者に魅力ある就業環境を提供できるよう改善に取り組む林業事業体に対し、労働安全や就労環境の改善に係る装備・設備の購入への支援を行う。

また、不足する人材を外国人材で確保する林業事業体に対し、外国人材の確保・定着・育成に係る費用の支援を行います。

（２）富山県林業カレッジ等による担い手の育成

（経営・計画に関わる技術者の育成）

将来の森林管理ビジョンを描き実現できる人材や、効率的な集約化施業を実現できる人材を育成しました。

実績	・森づくりプロデューサー養成研修 29日間延べ23人 ・森林施業プランナー育成研修 5日間 2人参加
----	---

（効率的な素材生産を担う技術者の育成）

高い生産性と安全性を確保しつつ、素材生産や森林作業道整備などを行うことのできる現場技術者を育成しました。

実績	・フォレストワーカー（林業作業士）研修 1年次～3年次 72日間 38人参加 ・フォレストリーダー（現場管理責任者）研修 15日間 10人参加
----	--

（主伐後の着実な再生林を担う技術者の育成）

スマート林業システムコースでは、ドローンやGNSS等で得られたデータを利活用できる人材の育成に取り組みました。

実績	・森づくりプロデューサー養成研修 うちスマート林業システムコース7日間延べ8人
----	--

（３）木造建築設計者等の確保・育成

（非住宅・中高層建築物の木造化や木質化の設計ができる人材の育成）

建築技術者等に対し、県産材の活用について理解を深めてもらうことを目的に、講習会等を開催しました。

実績	・木造公共建築講座 2回 62人参加
----	--------------------

木造公共建築の可能性を拓く情報誌を作成し、木材需要拡大を促進しました。

実績	・柚（そま）Vol.16の発刊
----	-----------------

（建築主及び設計、施工者の県産材に対する意識の高揚を図る機会の創出）

令和3～6年において県産材を利用して建設した建築物を対象にコンクールを開催し、県産材を利用する設計者・施工者の意欲向上に繋がる機会を創出しています。

実績	R6とやま県産材建築物コンクール応募数11点 (住宅部門5点・非住宅部門6点)
----	--

森づくりプロデューサー養成研修



大型ドローン操作技能習得研修



木造公共建築講座



県産材建築物コンクール 最優秀賞 石金の家



《令和7年度に新たに取り組む施策》

建築を学ぶ学生を対象に木造建築に関する講習及び現地研修会を開催します。



2 森と木の関係人口拡大

(1) 森づくりを支える県民意識の醸成

(森づくりを支える県民意識の醸成)

「とやま森の祭典 2024」を開催し、森林の持つ多様な役割や健全な森づくりのための県産材利用の重要性等について広く紹介し、県民の皆さんに理解を深めていただきました。

実績	・ R6. 5. 19 開催 魚津桃山運動公園 約 2 千人参加
----	----------------------------------

(森林環境教育の推進)

森づくりへの理解を深めてもらうため、児童、生徒や一般県民を対象に富山県フォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。また、森の寺子屋の指導者となる富山県フォレストリーダーのスキルアップ研修を実施しました。

実績	・ 「森の寺子屋」の開催 125 回 6,473 人参加 ・ スキルアップ研修 3 回 76 人参加
----	---

有峰の自然に対する愛着心を育む活動や高校生、一般県民の森林体験等を実施する「有峰森林文化村」の活動を推進しました。

実績	・ 文化村活動 92 回 1,020 人参加 ・ 森林文化公園施設利用者 27,239 人
----	--

(県民全体で支えるとやまの森づくりの推進)

「富山県水と緑の森づくり会議(R6. 4. 24)」を開催し、森づくりについて幅広く意見を伺うとともに、「富山県森林審議会森づくり部会(R6. 10. 8)」を開催し、事業の評価を行いました。

(2) 木育等の推進による県産材利用への理解増進

(県民への県産材利用の普及啓発)

10 月の「とやまの木づかい推進月間」を中心に、関係者が連携・協力し、県産材の利用促進に向けたイベントなどの広報活動を実施しました。

実績	・ 「2024 年とやまチビ子とんかち 大将コンクール」 応募総数 97 点 ・ 「とやま木育フェア 2024」 約 500 人参加 木製遊具の展示、住宅木材関連ブース、木育広場、木工教室の開催 等
----	---

(幼児期からの木育等の推進)

児童館など多くの子供が集まる施設への県産材遊具の導入を支援しました。

実績	・ 県産材こどもの城づくり事業 屋外遊具の製作・設置 3 施設 ・ 県産材遊具の貸出 28 回
----	---

とやま森の祭典 2024



森の寺子屋



とやま木育フェア
(R6. 10. 26 太閤山ランド)



屋外遊具の設置
(富山市西大沢)



《令和 7 年度に新たに取り組む施策》

日頃から幼児等に木育や自然保育を実践できる指導者を育成するため、保育士を目指している学生を対象とした研修会を開催します。

基本施策Ⅲ 県土の強靱化と県民参加の森づくり

県民の生活と産業を支え、災害から私たちの暮らしを守る、森林の有する公益的機能の維持・強化を図るため、里山林整備など県民参加による多様な森づくりや災害に強い森づくりを進めます。



1 災害に強い森づくりの推進

(1) 保安林の適正な管理と林地の保全

(公益的機能の発揮が必要な森林の計画的な保安林指定と適切な管理)

公益的機能の発揮が必要な森林を保安林に指定するとともに、保安林標識の設置や保安林調査員によるパトロールを定期的に行いました。

実績	・保安林種ごとの指定面積の概要	
	土砂流出防備保安林	5.9ha
	土砂崩壊防備保安林	2.5ha
	計	8.4ha
	・保安林標識の設置	33基
	・保安林調査員によるパトロール	8名 61回

保安林標識の設置 滑川市吉浦地内



(山林の開発等に対する適正な審査及びパトロール等による林地の保全)

無許可開発や、違反行為、申請と異なる内容での開発に対しては、適切な指導を行い、必要があれば、中止命令や復旧命令の監督処分を実施し、林地の保全に努めました。

実績	・森林審議会保全部会の開催	2回
----	---------------	----

トピックス 盛土規制法の運用開始

令和3年7月に発生した静岡県熱海市での盛土による土石流災害を契機に、国は「宅地造成等規制法」を改正。盛土による災害対策を強化し、盛土・切土・一時的な土石の堆積を規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法（通称「盛土規制法」）が令和5年5月26日に施行されました。

県内では令和7年5月1日、規制区域（宅地造成等工事規制区域、特定盛土等規制区域）が県及び富山市により指定され、同日付けで法の運用が開始されています。



(2) 県民の生命・財産を守る治山事業等の推進

(災害に強い森づくり・水源の森づくりの推進)

災害等により機能が低下している森林について、森林の整備を治山施設の設置と併せて実施するとともに、山地災害危険地区の整備や、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、水源涵養機能の高い森林に向け整備しました。

実績	・復旧治山事業	6市町 12箇所
	・予防治山事業	5市町 7箇所
	・緊急予防治山事業	3市町 3箇所
	・山地災害重点地域総合対策事業	3市 12箇所

復旧治山事業 南砺市干谷川地内



なだれ防止機能を有する森林の維持・造成を行いました。

実績	・なだれ防止林造成事業	1市	3箇所
----	-------------	----	-----

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の機能維持のため、下刈・間伐等の保育作業や植栽を実施しました

実績	・治山保育事業	3市2町	16箇所
----	---------	------	------

(治山施設の老朽化対策)

「富山県治山施設長寿命化計画（令和元年度策定）」に基づき、老朽化した治山施設の修繕を計画的に実施しました。

実績	・治山施設の修繕	5市町	9箇所
----	----------	-----	-----

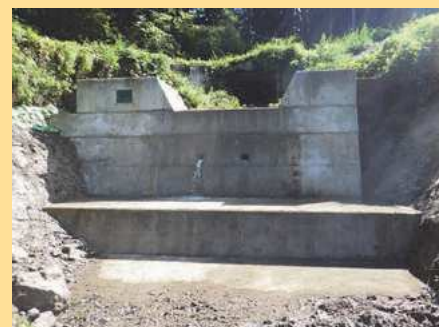
(山地災害危険地区の整備の推進と情報の積極的な発信)

人家集落等に近接する山地災害危険箇所における災害防止のため、航空レーザ計測を活用して崩壊地や流木、危険木等を把握し、治山整備計画を策定するなど、流域を一体とした荒廃地の復旧予防、流木対策を重点的に実施しました。

なだれ防止林造成事業
南砺市水無谷地内



治山施設緊急機能強化・老朽化対策事業
南砺市大豆谷地内



トピックス 山地災害危険地区の見直し

令和6年3月に林野庁が山地災害危険地区調査要領を改正しました。

県では、その要領に基づいて富山県全域の山地災害危険地区の再調査を令和6年から開始しています。この事業は令和7年度に完了する計画で、見直し後には県のホームページ等に公開する予定です。改正の概要としては、

- ・0次谷という地形要素を山腹崩壊の危険度の算定に盛り込む
- ・収量比数という針葉樹人工林の混み具合を表す指標を山腹崩壊の危険度の算定に盛り込む
- ・想定の流れ量を崩壊土砂流出の危険度の算定に盛り込む

などがあります。また、治山対策等の整備効果による危険度の低減も盛り込まれるなどしました。

令和7年度も引き続き見直し作業をすすめ、山地災害危険地区の適切な評価に努め、見直し後の山地災害危険地区について、県民への周知を図っていきます。

(3) 森林病虫獣害対策の推進

(松くい虫など森林病虫獣害に対する適切な被害把握と防除の実施)

海岸林などを松くい虫被害から守るため、薬剤散布や樹幹注入による予防対策と、被害木の伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

実績	・薬剤散布	6市町	84ha
	・伐倒駆除	7市町	126 m ³
	・樹幹注入（立木本数）	5市町	259本

(森林病虫獣害の被害跡地の健全な森林への誘導)

公益上又は景観上放置しがたい被害跡地については、植栽などにより早急に森林の復旧を行うとともに、里山林や主要道路沿線等において、倒伏による事故の防止や景観の保全を図るため、枯損木の除去を行いました。

実績	6市町	738 m ³
----	-----	--------------------

無人ヘリによる薬剤散布





2 県民参加による多様な森づくりの推進

(1) 里山林の整備

(県民協働による里山林の整備)

地域資源としての木材等の利用、森林浴や環境教育の場の提供、生物多様性の保全、野生動物との棲み分け等を目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みました。

実績	・里山林整備 8 市町 34 地区 413ha
	地域住民等の参加人数 481 人
	・4 年目以降の地区への支援 14 市町 146 地区
	地域住民等の参加人数 3,841 人

(地域住民による継続的な里山林の維持管理活動)

里山リーダーセミナーやかぐや姫の里の集い等により里山の活用を促進するとともに、活動の程度に応じた支援を継続し、里山地区の活性化と自立を支援しました。

実績	・里山リーダーセミナーの開催 14 回 97 人参加
	・「かぐや姫の里の集い」 R6.9.22 開催
	呉羽青少年自然の家 51 人参加

過疎化、高齢化等により地域住民だけでは困難となった里山林の維持管理を支援する「里山応援隊活動」など、地域のニーズに応じたきめ細かな支援を継続しました。

実績	・里山応援隊活動 1 地区 17 人参加
----	----------------------

(2) 混交林の整備

(過密人工林や侵入竹林の整備)

手入れ不足で過密となった人工林や竹が侵入した人工林などを対象に、スギと広葉樹が混ざり合った混交林への整備を進めました。

実績	・過密人工林整理 4 市町 4 地区 8ha
	・侵入竹林整理 6 市町 7 地区 13ha

(3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

(県民参加の森づくり活動の支援)

県民が自ら企画、実践する森づくり活動を募集し、その活動を支援しました。

実績	・16 件 参加延べ人数 1,593 人
----	----------------------

(とやまの森づくりサポートセンターによる森づくり活動の支援)

サポートセンターに登録した森林ボランティア団体や企業に対し、活動に必要な機器の貸出や保険料の支援を行うとともに、安全な活動を行うために必要な森林・林業の知識、技術に関する研修「森づくり塾」をオンライン配信も含め開催しました。

里山林の整備



かぐや姫の里の集い



混交林の整備



県民参加の森づくり活動



実績	・サポートセンター登録者数（R7.3 末現在） 137 団体（5,735 人）, 62 企業 ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 12,074 人 ・保険料支援 26 団体 ・機器の貸出 575 回 6,545 個 ・森づくり塾の開催 28 回 325 人参加
----	--

森づくり活動を体験する機会や登録団体等の交流を図るボランティア交流会等を開催しました。

実績	・とやまの森づくりボランティア交流会 R6.5.19 開催 魚津桃山運動公園 106 人参加 ・とやまの森づくりボランティアの集い R6.9.7 開催 県民公園頼成の森 56 人参加 ・飛越源流の森づくり R6.10.27 開催 岐阜県高山市清見町夏厩 地内 88 人参加
----	--

森林ボランティア活動



森づくり塾



ボランティア交流会



（県民意見を反映したとやまの森づくりサポートセンター運営）

広く県民から助言を得るため、学識経験者や経済団体等から組織された運営委員会を開催するとともに、サポートセンターを活用しているボランティア等から意見を聴くため、懇話会を開催しました。

実績	・とやまの森づくりサポートセンター運営委員会 R6.9.2 開催 富山県民会館 20 人参加 ・とやまの森づくりサポートセンター懇話会 R7.3.3 開催 富山県市町村会館 35 人参加
----	--

サポートセンター懇話会



トピックス とやまの森づくりCO₂吸収・固定量認証制度の創設

地球温暖化の防止には、温室効果ガス、中でも温暖化への影響が最も大きいとされる二酸化炭素を増加させないことが重要です。森林はその吸収源として大きな役割を果たし、また、木材として建築物等に利用することにより、炭素を長期的に貯蔵することができます。

企業やボランティア団体が日頃から取り組んでいる森づくり活動や木材利用が、地球温暖化防止、そして、カーボンニュートラルの実現に貢献していることを多くの皆様に知っていただき、更なる森づくり活動を後押しするため、「とやまの森づくりCO₂吸収・固定量認証制度」を創設しました。

制度初年度である令和6年度は、8企業・2団体の活動を認証しました。認証した二酸化炭素吸収量・炭素固定量の合計は13.3tとなり、約4世帯が1年間に排出する二酸化炭素の量に相当します。

令和6年11月7日には、企業・団体への認証書の交付式を実施しました。交付した木製認証書と認証銘板には、県産スギ材を使用しており、特に認証書は、薄くスライスしたスギ突板で五箇山和紙を挟んで割れ難くした仕様となっています。



富山県森林・林業振興計画の目標指標と令和6年度実績

基本 施策	指標名	基準年 (R 5)	実 績 (R 6)	中間目標 (R 8)	目 標 (R13)
Ⅰ 主伐の推進と林業の経営力強化	県産材素材生産量（年間）	10 万 5 千 m ³	11 万 2 千 m ³	14 万 5 千 m ³	16 万 m ³
	人工林における集積・集約化の目標面積※に対する割合（年間） ※人工林の半数	73%	75%	76%	81%
	主伐面積[人工林]（年間）	85ha	96ha	100ha	130ha
	間伐実施面積（累計）	41, 699ha	42, 257ha	45, 200ha	49, 800ha
	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」苗木生産本数（年間）	8 万 5 千本	7 万 5 千本	20 万本	20 万本以上※ ※需要状況により増産
	路網整備延長（累計）	4, 424km	4, 536km	4, 880km	5, 310km
	主伐の生産性（年間）	6. 3m ³ /人日 (R4)	6. 6m ³ /人日	6. 6m ³ /人日	8. 5m ³ /人日
	非皆伐長伐期施業による搬出材積[公社]（年間）	1, 390m ³	1, 414m ³	7, 000m ³	21, 000m ³
	公共建築物等における県産材利用施設数（累計）	426 棟	439 棟	544 棟	694 棟
	富山県ウッド・チェンジ協議会会員数（累計）	18 社	26 社	60 社	100 社
材つⅡ のな未 育ぐ来 成人に	林業就業者数（年間）	430 人	434 人	430 人	430 人
Ⅲ 県土の強靱化と 県民参加の森づくり	山地災害危険地区着手数（累計）	1, 466 箇所	1, 467 箇所	1, 472 箇所	1, 497 箇所
	治山・林道施設のうち長寿命化対策が必要な施設の割合（年間）	20. 4%	20. 4%	20%未満	20%未満
	里山林の整備面積（累計）	4, 061ha	4, 201ha	4, 800ha	—
	混交林の整備面積（累計）	1, 655ha	1, 676ha	1, 800ha	—
	県民参加による森づくりの参加延べ人数（年間）	10, 461 人	12, 074 人	13, 000 人	—

令和6年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
令和6年	
4月23日	富山県林業イノベーション推進協議会（第1回）
4月24日	富山県水と緑の森づくり会議
5月19日	とやま森の祭典2024[魚津桃山運動公園]
〃	とやまの森づくりボランティア交流会[同上]
7月 4日	富山県林政協議会
7月31日	令和6年度富山県森林審議会
8月 6日	とやま緑化推進機構臨時総会
8月28日	富山県森林審議会森林保全部会
9月 2日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
9月 7日	とやまの森づくりボランティアの集い[県民公園 頼成の森]
9月20日	「富山県森林・林業振興計画」の策定に係る答申の手交
9月22日	かぐや姫の里の集い[呉羽青少年自然の家]
10月 1日	「富山県森林・林業振興計画」策定
10月 3日	農林水産技術会議
10月 8日	富山県森林審議会森づくり部会
〃	とやまウッド・チェンジセミナー
10月10日	富山県ウッド・チェンジ協議会
10月25日	花粉の少ない森林づくりシンポジウム in とやま～これからのとやまの森林・林業～
10月26日	とやま木育フェア2024[太閤山ランド]
10月27日	飛越源流の森づくり2024[岐阜県高山市]
10月28日	森林基幹道別又嘉例沢線開通式
10月31日	富山県林業用優良種苗需給調整協議会
11月 7日	とやまの森づくりCO ₂ 吸収・固定量認証書交付式
12月 9日	富山県森林審議会森林保全部会
12月26日	県産材の利用に関する建築物木材利用促進協定締結式 (株)ゴールドウイン、砺波地区木材組合、南砺市)
令和7年	
2月15,16日	花とみどり・ふれあいフェア [フューチャーシティファボーレ]
2月21日	林業普及指導活動成果発表会
3月19日	富山県林業イノベーション推進協議会（第2回）

